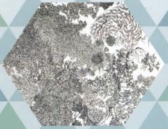
1

2

3

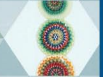


4

5

6

7



8

9

10

11

12

13

14

15

16

掌の宇宙に、曼荼羅の花咲く

Microcosm

アート、工芸、そして、蔵の空間

2014年 2月8日(土) ─3月23日(日)

17

開館時間	午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）	休館日	毎週月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、2月12日（水）
観覧料	一般 / 大・高校生：500（300）円　小・中学生：200（100）円		

○（　）内は20名以上の団体料金　○身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者１名、未就学児は無料　○土曜日は栃木市内の小・中学生は無料　○毎月第3日曜日は「家庭の日」のため栃木県内の小・中学生は無料

主催：とちぎ蔵の街美術館(指定管理者 NPO法人アート・ビオトープ)
後援：栃木市、栃木市教育委員会、朝日新聞宇都宮総局、毎日新聞社宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、下野新聞社
東京新聞宇都宮支局、産経新聞社宇都宮支局、NHK宇都宮放送局、株式会社とちぎテレビ、栃木ケーブルテレビ
監修：新見 隆（大分県立美術館館長、武蔵野美術大学芸術文化学科教授）企画協力：株式会社ミレニア

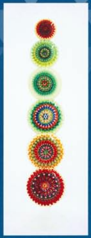
とちぎ蔵の街美術館

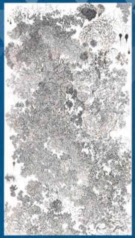
《森のピアノ》新見 藍

《心皮-carpel》金 恵貞

《Matryoshka》福島 かほり

《Flower Shell》髙見澤 英子 / 撮影：斎城 卓


《Peaceful death》大橋 春香


《妖精》真島 直子

掌の宇宙に、曼荼羅の花咲く

Microcosm

アート、工芸、そして、蔵の空間

私どもの肉体は、宇宙万物の万華鏡のような、ミニアチュール（縮小世界）です。また、種や花、庭や空、雨など、森羅万象は、いずれも素晴らしい、掌の曼荼羅です。「芸術とは、森羅万象に対する感受性のこと」、と喝破したアーティストがいましたし、「宇宙芸術霊は、私ども人間の前に存在した」という作家がいます。これらいずれも、近代の始まりに、フランス象徴派の領袖、詩人ボードレールが宣うた、CORRESPONDENCE=万物照応、というヴィジョンを、共有しております。私ども近代人は、いずれも、「失われた美」を探して、彷徨う、美の旅人であります。ミクロコスモスとは、蔵の街美術館の建物そのもの、この伝統的な、趣きに富んだ、ゲニウス・ロキ（地霊）と、作品群が、交霊するという、趣旨趣向でございます。文化から天保期、今から１８０年ほど前に、立てられた、三棟連続の、切り妻妻入り、黒漆喰、栃木瓦の、歴史的な空間は、微細詳細な、総合的造作空間、ミニチュア宇宙空間そのものでして、この場における、諸ジャンルの出会いと、宇宙そのものに広がる、大千世界を、お楽しみいただきたい、と願っております。気鋭の現代作家、現代工芸家の、渾身の作品群が、ミクロコスモスなる、驚異の造形文化たる豆本世界、さらには、掌の総合芸術である造本の世界に、出会い、競演、コラボレーションします。さあさ、ございとうざい、お立ち会い。

ゲストキュレーター：新見 隆（大分県立美術館館長、武蔵野美術大学芸術文化学科教授）

出展作家：アレクサンダー・クリンソーン、安藤麻衣子、イイノナホ、磯崎真理子、大野綾子、大橋春香、大町彩、尾形かなみ、金恵貞、栗原優子、さかぎしよしおう、高橋禎彦、髙見澤英子、中川幸夫、長峯香菜、中村錦平、中村洋子、新里明士、新見藍、バーティル・ヴァリーン、福島かほり、真島直子、松村明郎、宮崎匠悟、吉雄介、留守玲（敬称略、五十音順）

表面：1.《無題》アレクサンダー・クリンソーン、2.《石！CUP？》中村錦平 / 撮影：赤羽佑樹、3.《nostalgia!》中村洋子 / 撮影：興石真由美、4.《進化する眠り》大野綾子 / 撮影：若林勇人、5.《とろけること》高橋禎彦、6.《接踵》留守玲、7.《水器》松村明郎、8.《花器》大町彩、9.《因力》宮崎匠悟、10.《無題》吉雄介 / 撮影：赤羽佑樹、11.《from the inside》長峯香菜、12.《鮮紅 Ⅲ》栗原優子 / 撮影：末正真礼生、13.《gravityless Room》尾形かなみ / 撮影：藤本礼奈、14.《光器》新里明士 / 撮影：赤羽佑樹、15.《そそぐうつわ》安藤麻衣子、16.《4006》さかぎしよしおう、17.《breath of forest》イイノナホ

※掲載作品はすべて個人蔵　※都合により出展作品が変更になる場合があります

関連イベント

▼講演会

「ミクロコスモスから、
新しいミュージアムの文化を考える」

日　時：3月1日（土）午後2時より
会　場：小山高専サテライト・キャンパス スタジオ2
講　師：新見 隆氏
（大分県立美術館館長、武蔵野美術大学芸術文化学科教授）
定　員：30名（先着順）入場無料

※小山工業高等専門学校との共催で行います。

▼学芸員によるギャラリートーク

日　時：2月22日（土）、3月15日（土）、22日（土）
各日午後2時より

※観覧券をお求めのうえ、当館受付までお集まりください。

▼こどものためのワークショップ

「くらのまビッグライト！くらのまスモールライト！
─おおきいのにちっちゃい？世界 ちっちゃいのにおおきい？？世界」

日　時：3月9日（日）午前10時～午後5時
会　場：とちぎ蔵の街美術館、栃木第一小集会室
対　象：小学生くらい（小学生未満は保護者同伴）
定　員：40名（要予約）
参加費：500円（保険料、材料費として）
受付開始：2月15日（土）　申込締切：3月2日（日）

ごいっしょに

「新春展」

会　場：岩下記念館 ☎0282-20-5533
会　期：平成25年12月11日（水）～平成26年3月2日（日）
午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

チケット半券提示による特典

本展と会期が重なる期間中、当館にて「新春展」のチケット半券のご提示で、当館収蔵作品ポストカードをプレゼント。岩下記念館では、本展のチケット半券のご提示で入館料が100円割引きになります。

ワークショップのお申込み方法

電話でのお申込み
とちぎ蔵の街美術館 ☎0282-20-8228

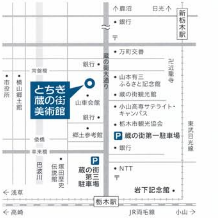
メールでのお申込み
件名に「催事名・催事日」、本文に①氏名（参加人数分）②学年③学校名④住所⑤電話番号を明記の上、下記アドレスまでお送りください。折り返し、担当者が受付確認のご連絡をいたします。

✉workshop@kuramuseum.com

アクセス

電車／JR両毛線栃木駅、東武日光線栃木駅から徒歩約15分
バス／栃木駅より市街地北部循環線（東回り）
東武ギフト前下車、徒歩3分
車／東北自動車道栃木I.C.から約10分

※駐車場は蔵の街観光館南、大通り沿いの蔵の街駐車場をご利用ください。
※有料入館者・障害者手帳をお持ちの方には駐車場の無料券をお渡ししています。



とちぎ蔵の街美術館

〒328-0015 栃木県栃木市万町3番23号
TEL:0282-20-8228 FAX:0282-20-8227
http://kuramuseum.com